

(様式1)

平成27年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 162	提案機関名 JAかながわ西湘営農部指導課
要望問題名 十郎小町の授粉樹の検討	
要望問題の内容 【検討】 神奈川県が推奨している十郎小町について、当JAの状況では白加賀と重なるため本格導入は難しいと思われるが近年、十郎の不作が続いているため、十郎の授粉樹として活用できるかを検討願いたい。	
解決希望年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	<input type="checkbox"/> ①農業技術センター <input type="checkbox"/> ②畜産技術センター <input type="checkbox"/> ③水産技術センター <input type="checkbox"/> ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産技術部果樹花き研究課				
対応区分	<input type="checkbox"/> ①実施 <input type="checkbox"/> ②実施中 <input type="checkbox"/> ③継続検討 <input checked="" type="checkbox"/> ④実施済 <input type="checkbox"/> ⑤調査指導対応 <input type="checkbox"/> ⑥現地対応 <input type="checkbox"/> ⑦実施不可						
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 3 消費者ニーズに合致した果樹有望品種の安定生産技術の確立 (2)本県育成ウメ新品種の安定生産技術の確立 ア 安定生産技術の確立							
対応の内容等 本県で育成したウメの新品種の交雑和合性については、すでに検討しています。その中で2009、2010、2012年の3ヵ年で「十郎」×「十郎小町」の交雑も実施し、「十郎小町」が「十郎」の授粉樹として活用できることを明らかにしています。 具体的には、「十郎」に「十郎小町」の花粉を受粉させた場合の結実率は、2009年は60% (10花中6花)、2010年は40% (10花中4花)、2012年は59% (22花中13花)で、「十郎」は「十郎小町」の花粉で結実することができ、結実率も高い傾向を認めました。開花期についても、「十郎」の満開日は3月6日、「十郎小町」は3月4日 (いずれも2011～2013年の平均・平塚市) とほぼ重なりました。 なお、「十郎小町」の果実の利用につきましても、現地において引き続きご検討をお願いします。							
解決予定年限	<input type="checkbox"/> ①1年以内 <input type="checkbox"/> ②2～3年以内 <input type="checkbox"/> ③4～5年以内 <input type="checkbox"/> ④5～10年以内						
備考							